



2008年10月17日

各位

会社名 日置電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 吉池 達悦
 (コード番号 6866 東証第一部)
 問合せ先 執行役員総務部長 巢山 芳計
 (TEL 0268-28-0555)

2008年12月期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2008年7月8日に公表いたしました2008年12月期(2008年1月1日～2008年12月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 2008年12月期 連結業績予想値の修正(2008年1月1日～2008年12月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 18,000	百万円 2,800	百万円 2,750	百万円 1,720	円 銭 126.22
今回修正予想(B)	16,900	2,130	2,090	1,260	92.46
増減額(B - A)	1,100	670	660	460	
増減率(%)	6.1%	23.9%	24.0%	26.7%	
(ご参考) 前期(2007年12月期)実績	17,113	2,616	2,569	1,594	116.21

2. 2008年12月期 個別業績予想値の修正(2008年1月1日～2008年12月31日)

(金額の単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 16,400	百万円 2,650	百万円 2,670	百万円 1,670	円 銭 122.55
今回修正予想(B)	15,100	1,940	2,020	1,270	93.19
増減額(B - A)	1,300	710	650	400	
増減率(%)	7.9%	26.8%	24.3%	24.0%	
(ご参考) 前期(2007年12月期)実績	15,567	2,487	2,530	1,612	117.48

3. 修正の理由

当期は、中国販社による同市場への拡販効果及び自動試験装置の台湾市場への販売回復等により、アジア地域を中心として海外市場への売上高は伸長しています。

しかし、サブプライムローン問題に端を発する金融不安により、世界的に経済の先行き不透明感が強まる中でわが国の設備投資は後退し、当社グループが所属する電気測定器事業の販売環境は特に国内市場において厳しさを増しています。

当社グループは、各製品分野に新製品を投入し、拡販努力を続けていますが、需要低迷の長期化により、前回発表の2008年12月通期の業績予想を下回る見通しとなったため、これを修正いたします。

(注)当業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、需要動向の変化等多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、種々の要素により現時点での予想と乖離する可能性がありますのでご承知おきください。

以上